

地域との交流活動 「障がいがある方との手話交流」

秦野市立東中学校

単元（題材）目標

○障がいのある方（たけのこ学級生）等との交流を通して障がいについて理解を深め、お互いを尊重できる思いやりの心を育てる。

(1) 実施時期 11月20日（日）

(2) 対象（学年等・人数）

生徒（1年～3年）35名，教員5名，
地域の方（たけのこ学級生・家族・ボランティア等）63名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭～生徒会，吹奏楽部担当（3名）等
外部講師～外部講師（1名）
大学生ボランティア（9名）
一般ボランティア（14名）

(4) 実施内容

- ①ラジオ体操
- ②大学生ボランティア進行による交流ゲーム：じゃんけん列車
- ③吹奏楽部演奏：演奏に合わせてダンス等
- ④手話で歌おう：「花は咲く」
 - ・講師指導により手話練習（歌詞を一つひとつ練習）
 - ・歌をパートごとに分けて手話練習
 - ・生徒と参加者が混じり合って，手話を行いながら合唱
- ⑤みんなで歌おう：「with you ありがとう」
 - ・手話ができる人は，手話を行いながら合唱
- ⑥みんなで踊ろう：「マイムマイム」



(5) 成果

○障がいのある方達との交流を通して，誰もがかけがえのない存在であることを理解するとともに，手話学習を通して，今後も積極的にコミュニケーションを図ろうとする意識を高めることができた。

〈生徒感想 一部抜粋〉

とても楽しかったし，これで耳が聞こえない人とも話せるのだと思い，もっとたくさんの手話を知りたいと思いました。

(6) その他

○市の生涯学習課と協働で実施したことで，多くの参加者と交流することができた。